

東京夢の島マリーナ マリンフェスティバル2015 体験ヨットレース

帆走指示書

主 催 : 東京夢の島マリーナ (スバル興業株式会社)
協 力 : 東京ヨットクラブ
運 営 : 東京ヨットクラブレース委員会

1. 適用規則

- セーリング競技規則2013-2016 (以下「RRS」という)
- 本帆走指示書
- セーリング競技規則と本帆走指示書が矛盾する場合は、本帆走指示書を優先する

2. 参加資格

- 有効な船検及び安全備品を有し、船舶保険に加入したエンジン付きセーリングクルーザー。
- レース参加費は無料で気軽に参加頂けるヨットレースですので、体験ヨットレースに参加申込頂いたゲストを乗船させて頂けるヨットマンの皆さんのご協力をお願い致します。

3. 責任の所在

- 艇と乗組員の安全に関する全ての責任は各艇にあるものとする。

4. レース日程

- 2015年10月4日 午前10時15分スタート予定。

5. 参加申込

- 9月29日(火)までに、参加申込書を東京ヨットクラブホームページよりダウンロードし必要事項を記入して東京夢の島マリーナへ申込を行う。

6. スケジュール

- レース当日のタイムスケジュールは次の通りとする。

出艇申告	8時00分 ~ 8時30分	マリーナ1階アトリウムにて受付
艇長会議	8時30分 ~ 8時50分	マリーナ1階アトリウム
カップリング	8時50分 ~ 9時10分	マリーナ1階アトリウム
予告信号	10時10分	
スタート	10時15分	全艇一斉スタート
タイム・リミット	12時00分	全艇
表彰式	14時00分~30分(予定)	マリーナ1階アトリウムにて表彰

- 変更がある場合は、当日朝の艇長会議にて発表する。

7. 出艇申告

- 参加艇は、当日の艇長会議が始まるまでに、出航届とレース参加者名簿をレース本部に提出しリコールナンバーを受け取ることで出艇申告とする。

8. リコールナンバー

- 参加艇は出艇申告で受け取ったリコールナンバーを、レース中は左右のバウのライフラインに取り付け、レースコミッティが艇を特定できるようにしなければならない。

9. クラス

- 全艇オープンクラスとする。

10. カップリング

- 艇長会議後に、当該レースに参加申込をして乗船するゲストとのカップリングを行う。
- 参加艇が出艇申告で受取ったリコールナンバーと同じ番号のリコールナンバーを持っているゲストが乗船することになる。

11. 個人用浮揚用具の着用

- 本部船にY旗が掲揚されなくても、参加艇のすべての競技者（乗船者）は、衣類または個人装備を一時的に着替えたり整えたりする間を除き、マリナーを出港する時からライフジャケットまたは、その他の適切な個人用浮揚用具を着用していなければならない。

Y旗

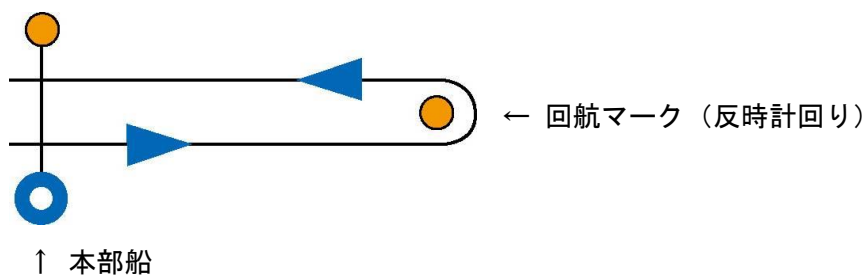


個人浮揚用具着用

12. レースコース

- 葛西臨海公園沖スタート⇒ 東京ディズニー沖回航マーク ⇒ 葛西臨海公園沖フィニッシュ
- コースは、ソーセージコースの2レグとし、回航マークは反時計回りとする。

↓ スタートマーク 及び フィニッシュマーク



- レース距離はスタートから回航マークまで約1.5マイル、往復約3マイルとするが、風が弱い場合は距離を短くする場合がある。
- スタートマークと及び回航マークはオレンジ色の円筒型ブイを用いる。
- フィニッシュマークはスタートマークで使用したブイを用いる。

13. スタートライン

- 本部艇（TYC大エンサイン旗掲揚艇）のマストとスタートマークを結ぶ線。
- 本部艇にモーターボートを使用する場合には、当日の艇長会議にて指示する。
- スタートラインの位置を変更する場合は、本部船にL旗を掲げ通告し、本部船に続いて新しい地点へ移動する。

L旗



14. スタート

- スタートは次の通りに従い、全艇一斉スタートとする。

信 号	視覚信号	音声信号
予告信号 (5分前)	TYC旗 掲揚 	音響1声
準備信号 (4分前)	P旗 掲揚 	音響1声
1分信号 (1分前)	P旗 降下	長音1声
スタート	TYC旗 降下	音響1声

- 参加艇は、スタート信号後10分以内にスタートしなければならないが、それ以後にスタートした艇は、失格に代わる罰則として所要時間に対し10%のタイムペナルティーを課す。
(RRS付則A4の変更)

15. スタートの延期

- 予告信号前、または予告信号後でもスタート信号前に、何等かの理由によりレースを延期することができる。
- スタートの延期は、音響信号2声と共に回答旗(A P旗)を掲揚する。その際、P旗その他スタートに関する旗は降下される。その後の予告信号は音響信号1声とともに回答旗を降下した1分後に発する。

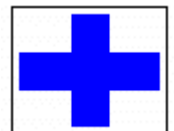
回答旗
(A P旗)



16. リコール

- リコール艇があった場合には、X旗を掲揚し、音響信号1声を発する。
- X旗は、リコールした全ての艇がリコールを解消した時、あるいはスタート信号4分経過後のいずれか早い時点で降下される。
- リコールを解消しなかった艇は、失格に代わる罰則として所要時間に対し10%のタイムペナルティーを課す。

X旗



17. ゼネラルリコール

- ゼネラルリコールの場合、第一代表旗を掲揚し、音響信号2声を発する。
- 新しいスタートの予告信号は、音響信号1声と共に「第一代表」旗が降下された1分後に発せられる。

第一代表旗



18. コース短縮

- コース短縮をする場合は、本部船又はマークボートにS旗を掲げ、回航マークとTYC大エンサイン旗を掲げた本部船のマスト(マークボートはポール)を結ぶ線とする。
- 参加艇の先頭艇がタイム・リミットまでにフィニッシュできそうにないと判断した場合は、スタートライン ⇒ 回航マークの間、又は回航マーク ⇒ フィニッシュラインの間でコース短縮を行う場合がある。

S旗



19. フィニッシュライン

- フィニッシュマークは、スタートマークを使用し、スタートラインとほぼ同じ位置に設置する。
- TYC大エンサイン旗を掲げた本部艇のマストとフィニッシュマークを結ぶ線とする。
- フィニッシュラインは、回航マークからのコースの方向で横切らなければならない。
- コース短縮があった場合は、S旗を掲揚した本部艇又はマークボートと回航マーク又はフィニッシュマークを結ぶ線とする。その場合フィニッシュラインは、スタートライン又は回航マークから進んだコースの方向で横切らなければならない。

20. エンジンの使用

- 参加艇はレース中に動力としてのエンジンの使用は認められない。
(レース中とはスタート4分前の準備信号からフィニッシュラインを横切るまで)
しかし、落水者救助、遭難艇(船舶)救助、他の船舶との衝突回避(緊急避讓)、離礁その他の緊急かつ切迫した事態に対処するためにエンジンを使用することができる(RRS 42.3(h)参照)
但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的・時間・場所等)について、フィニッシュ後レースコミッティに速やかに報告しなければならない。

21. スピンネーカーの使用

- スピンネーカー及びジェネーカーの使用は認められない。

22. タイム・リミット

- 全艇12時とし、タイム・リミット内にフィニッシュできない艇はDNFと記録する。
- スタート延期によるスタート時刻の変更があってもタイム・リミットは変わらない。

23. レースの成立

- トップ艇のフィニッシュをもってレースは成立する。
- タイム・リミット内に1艇もフィニッシュしない場合にはノーレースとする。

24. レースの中止

- 陸上では、東京夢の島マリーナ1階アトリウムに設置した掲示板で通知する。
- スタート後は、本部艇にN旗を掲揚し、音響3声を発し通告する。
- 当日の全てのレースを中止するとき、本部艇にA旗の上にN旗を掲揚し、音響3声を発する。

N旗



A旗

25. リタイヤ

- リタイヤする艇は、本部艇に対してその意志を口頭または携帯電話にて連絡すること。
- ハーバーに帰港した際には、すみやかにレース本部に対して帰着申告をし、リタイヤした旨を伝えること。

26. 帰着申告

- 参加艇は、ハーバーに帰港後直ちにリコールナンバーをレース本部に対して返却する。この返却をもって帰着申告とする。

27. インシデント時のペナルティー

- レース中に、RRS第2章の「航路権」に違反した艇は失格に代わる罰則として2回転ペナルティーを履行することができ、RRS 31「マークとの接触」に違反した艇は失格に代わる罰

則として1回転ペナルティーを履行することができる。

- 艇はインシデント後できるだけ早く他艇から十分離れた後、1回のタックと1回のジャイブを含む回転を、同一方向に必要回数だけ速やかに行なう事により、1回転または2回転ペナルティーを履行したことになる。

28. 抗議と救済要求

- 原則として認めない。各艇シーマンシップに乗っとり、安全には十分注意すること。

29. 順位の決定

- 東京ヨットクラブ独自の体験ヨットレース用レーティング（TCF）による修正時間により順位を決定する。
- 順位は全艇にて算出する。
- 全艇の修正時間の算出は0.1秒単位までを算出し、小数点第2以下を四捨五入する。
- 修正時間が同一の場合には、TCF値の小さい艇を上位とする。

30. 賞

- 優勝、準優勝、その他とび賞、他

31. 帆走指示書の変更

- 帆走指示書の変更は、レース開催日の艇長会議までに東京夢の島マリーナの掲示板又は、TYC競技委員会ホームページに当日の6時まで掲示するか、艇長会議にて行う。

32. 注意事項

- レース海域への往復の際及びレース中は他船の航行（参加艇以外のすべての船）に支障をきたさないよう十分注意すること。
- 三枚洲沖の黒柱内は航行禁止とする。

33. レース本部所在

- 東京夢の島マリーナ

34. 連絡先

- 本部船（艇名： ） 080-1391-5877（海上本部専用電話）
- マークボート 080-8082-0787（陸上本部専用電話）
- 本部船VHF 69ch
- 東京夢の島マリーナ 03-5569-2710
- 東京海上保安部 03-5564-4999（緊急時のみ）
- 海上緊急通報 118（緊急時のみ）

35. レースに関する問い合わせ

夢の島マリーナ

電話 03-5569-2710

以上